

# 主要事業の概要

一般会計

4月1日 水曜日





款	総務費	項	総務管理費
---	-----	---	-------

**シティプロモーション推進事業 (継続)**

担当	市長公室 広報広聴課
----	---------------

<b>予算額</b>		5,153		(単位：千円)	
財源内訳	特定財源	国県支出金		事業期間	令和2年度
		地方債		施策の大綱	1-1 「地域力」と「市役所力」が一体となった協働のまちづくり
		その他		施策名	4 行政情報の活用促進と魅力発信
	一般財源	5,153	施策の内容	2 広報活動の充実と効果的なシティプロモーションの推進	全体事業費

**事業の目的**

都市間競争が厳しくなる中で、本市が「存在感のある、選ばれるまち」となり持続的に発展していくため、まちの地域資源を活用して創出したさまざまな魅力を戦略的に内外へ発信します。

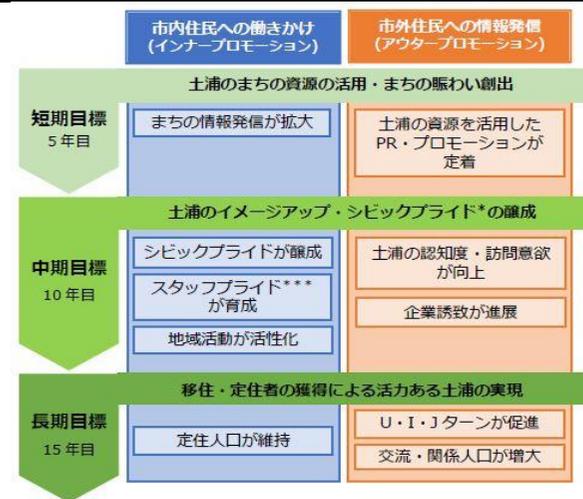
**事業の概要**

**【今年度事業内容】**

- ◎土浦のまちの資源の活用とにぎわい創出
  - ①「学祭TSUCHIURA」の開催 1,936千円
- ◎土浦のイメージアップとシビックプライドの醸成
  - ①「学祭TSUCHIURA」の開催（再掲）
  - ②シティプロモーション研修の実施 230千円
  - ③インターネットを活用した情報発信 1,564千円
- ◎移住・定住者獲得による活力ある土浦の実現
  - ①都内での移住フェアの実施 1,030千円
  - ②移住体験日帰りツアーの実施 393千円

**【今後の予定】**

第2期つちうらシティプロモーション戦略プランに掲げる目標の実現に向け、引き続き、施策分野横断的に全庁でシティプロモーション活動の推進に取り組みます。



**期待される効果・成果目標等**

戦略的なシティプロモーション活動を継続して行うことで、まちのにぎわい創出やシビックプライドの醸成を図るとともに、本市での暮らしに興味を持ってもらうことで、交流人口や定住人口の増大と地域活力の維持・増進に寄与します。

款	総務費	項	総務管理費
---	-----	---	-------

東京2020オリンピック聖火リレー運営事業

(新規)

担当 市長公室  
政策企画課

予算額		1,410		(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金		事業期間	令和2年度	全体事業費	1,410
		地方債		施策の大綱	2-2 心豊かな教育・文化・スポーツのまちづくり		
		その他		施策名	5 すべての市民がスポーツ・レクリエーションに親しむまちづくり		
		一般財源	1,410	施策の内容	1 スポーツ・レクリエーション活動の推進		

事業の目的

本市での東京2020オリンピック聖火リレーの実施に伴い、事前周知やイベント等を併せて実施することで、市民がオリンピックに親しむ機会を創出します。

事業の概要

【今年度事業内容】

聖火リレー実施日に向け、周知を行います。

また、聖火リレー当日に、多くの市民が聖火リレーに親しむことができるよう、イベント等を実施します。

◎本市聖火リレー実施日：令和2年7月6日（月）

◎実施区間：土浦第一高等学校～土浦市役所うらら大屋根広場

◎事業費 (単位：千円)

区分	概要	事業費
報償費	出演団体謝礼等	105
需用費	周知物品等	762
役務費	保険料	6
使用料及び賃借料	音響設備借上料等	537
	合計	1,410

期待される効果・成果目標等

事前の周知や聖火リレー当日の取組を通して、より多くの市民が聖火リレーに触れることにより、オリンピックに親しむ機会が創出され、スポーツ文化の醸成が期待できます。

款	総務費	項	総務管理費
---	-----	---	-------

**ふるさと土浦応援寄付事業 (継続)**

担当	市長公室 政策企画課
----	---------------

<b>予算額</b>		165,413				(単位：千円)
財源内訳	特定財源	国県支出金	事業期間	令和2年度	全体事業費	165,413
		地方債	施策の大綱	1-2 行財政改革の推進と市民サービスの向上		
		その他	施策名	2 持続可能な財政運営の推進		
		一般財源	165,413	施策の内容	1 歳入確保の取組	

**事業の目的**

ふるさと納税は、税制改正に伴う特例控除の上限の拡充やワンストップ特例制度の創設により、広く認知されるようになりました。本市においても、引き続き、本市ならではの返礼品を充実させることにより、歳入の確保を図るとともに、地元の特産品等を広くPRします。

**事業の概要**

**【これまでの経緯】**

- 平成20年度 ふるさと土浦応援寄付事業開始
- 平成27年度 寄付者に返礼品を送付する事業を開始
- 平成30年度 実績：8,761件 120,989千円

**【今年度事業内容】**

引き続き、地元の名産品などの返礼品を充実させるとともに、イベント時など各種機会においてふるさと納税のPRを行います。

**【今後の予定】**

本市ならではの返礼品、特徴ある返礼品を充実させ、歳入の確保を図ります。  
効果的・効率的なPRの手法を模索し、実施します。



ふるさと納税チラシ

**期待される効果・成果目標等**

返礼品の拡充やPRの実施により、本市の財源確保を図るとともに、地元の特産品等の新たな販路拡大などを通して、地域の活性化につなげることができます。

水郷筑波サイクリング環境整備事業

(継続)

担当 政策企画課・商工観光課・都市計画課

(単位：千円)

予算額		13,268		事業期間	令和2年度	全体事業費	13,268
財源内訳	特定財源	国県支出金	5,164	施策の大綱	2-3 活力とにぎわいのあるまちづくり		
		地方債	1,000	施策名	5 地域の魅力を生かした観光の振興		
		その他	1,200	施策の内容	10 サイクリングイベントの実施		
		一般財源	5,904				

事業の目的

ナショナルサイクルルートに指定された「つくば霞ヶ浦りんりんロード」などの本市サイクリング環境のPRや当環境を活用したイベントを実施するとともに、サイクルサポートステーションやサイクリスト優待店の拡充など、サイクリング環境の向上を図り、交流人口の拡大と地域活性化を推進します。

事業の概要

【これまでの経緯】

「つくば霞ヶ浦りんりんロード」の開通、サイクリング拠点施設「りんりんスクエア土浦」、「りんりんポート土浦」の開業、「つくば霞ヶ浦りんりんロード」のナショナルサイクルルートの指定など、本市サイクリング環境の整備・浸透が進む中、交流人口の拡大を図るため、広域レンタサイクル事業や霞ヶ浦サイクルツーリズム事業などを実施しています。

【今年度事業内容】

(単位：千円)

事業名	事業費	事業名	事業費
霞ヶ浦サイクルツーリズム事業	5,700	イベント実施事業(市制80周年記念ほか)	1,955
全国シクロサミット開催事業	1,200	広域レンタサイクル事業, 利活用推進協議会事業	830
サイクルサポートステーション事業	415	自転車交通量調査	268
サイクリスト優待店事業	300	ルート案内標識設置等	2,600
小計	7,615	小計	5,653
		合計	13,268



霞ヶ浦広域サイクルーズ

【今後の予定】

県や周辺市町村との連携を図りながら、引き続き、広域レンタサイクル事業や霞ヶ浦サイクルツーリズム事業などを実施します。

期待される効果・成果目標等

当事業を通して、本市のサイクリング環境を広く市内外にPRすることにより、交流人口の拡大と経済効果が期待できます。

款	総務費	項	総務管理費
---	-----	---	-------

**地域公民館整備事業 (継続)**

担当	市民生活部 市民活動課
----	----------------

<b>予算額</b>		32,890	(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金	事業期間	令和2年度	全体事業費	32,890
		地方債	施策の大綱	1-1 「地域力」と「市役所力」が一体となった協働のまちづくり		
		その他	施策名	2 心豊かな生活を支える地域コミュニティの活性化		
	一般財源	32,890	施策の内容	4 地域コミュニティ施設の整備		

**事業の目的**

町内会（自治会）住民の地域活動や交流の拠点となる地域コミュニティ施設の新築等に要する経費の補助を行うことにより、地域住民の連帯感及びコミュニティ意識の高揚を図ります。

**事業の概要**

**【これまでの経緯】**

平成13年度から、教育委員会所管の地域公民館設置等補助金及び児童公民館補助金交付要綱を廃止・統合して「地域コミュニティ施設新築等補助金交付要綱」を創設し、補助を行っています。

平成13年度～令和元年度の実績                      新築・改築    41件            増築・修繕    43件

**【今年度事業内容】**

新築・改築関係            1件            補助金額        20,000千円            真鍋新町

修繕関係                    3件            補助金額        12,890千円            神立町1区中, 粕毛町, おおつ野

**【今後の予定】**

集会施設を所有していない町内会が5町内会、建築後35年を経過する公民館が53館あり、今後も各町内会からの要望が予想されます。

**期待される効果・成果目標等**

地域公民館を拠点として、地域の連帯感及びコミュニティ意識が醸成され、更なる地域コミュニティの活性化に寄与します。

款	総務費	項	総務管理費
---	-----	---	-------

**協働のまちづくりファンド（ソフト）事業（継続）**

担当	市民生活部 市民活動課
----	----------------

<b>予算額</b>		1,900		（単位：千円）					
財源内訳	特定財源	国県支出金		事業期間	令和2年度		全体事業費	1,900	
		地方債			施策の大綱	1-1 「地域力」と「市役所力」が一体となった協働のまちづくり			
		その他	1,900			施策名			1 支えあい高めあう市民とともにつくるまちづくりの推進
	一般財源		施策の内容	2 市民の自治意識の高揚					

**事業の目的**

「土浦市協働のまちづくり基金」を活用し、市民活動団体が自主的に行うまちづくり活動に対して補助することにより、魅力的で個性豊かな活力ある地域社会の実現を目指します。

**事業の概要**

**【これまでの経緯】**

地域の活性化や地域課題の解決を図るため、市民自らが実践する新たなまちづくり活動に対する補助事業として、平成27年度から取組を開始し、令和元年度は、新規（1年目）2件、継続（2年目）2件が実施されました。

**【今年度事業内容】**

- ◎補助率等 ・新規（1年目）：上限300千円 補助率3/4  
・継続（2年目）：上限200千円 補助率1/2

- ◎対象団体 市内に拠点を有するNPO法人、ボランティア団体等の市民活動団体

- ◎募集期間 4月～5月

**【今後の予定】**

事業の周知に努め、継続的に実施します。



HMBアウトドアクラブ  
サイクリング天国いばらきを走ろう  
「城下町土浦 りんりん食べ歩きサイクリング」



あおぞらまるしえ  
わいわいがやがやアルカス土浦ライブ  
～あおぞらまるしえ～

**期待される効果・成果目標等**

自主的・主体的な市民活動を促進することにより、市民と行政の協働によるまちづくりの推進に寄与します。

款	総務費	項	総務管理費
---	-----	---	-------

### 第4次土浦市男女共同参画推進計画策定事業

(継続)

担当	市民生活部 市民活動課
----	----------------

予算額		3,480		(単位：千円)	
財源内訳	特定財源	事業期間	令和元年度～令和2年度	全体事業費	4,101
	国県支出金	施策の大綱	1-1 「地域力」と「市役所力」が一体となった協働のまちづくり		
	地方債	施策名	5 個性と能力が発揮できる男女共同参画の推進		
	その他	施策の内容	1 あらゆる手段による意識づくり		
	一般財源			3,480	

#### 事業の目的

男性と女性が互いに尊重し、性別にかかわることなく社会のあらゆる分野に参画し、それぞれの個性と能力を発揮することができる男女共同参画社会の実現を目指します。

#### 事業の概要

##### 【これまでの経緯】

- 平成23年3月 「第3次男女共同参画推進計画」策定
- 平成28年3月 「第3次男女共同参画推進計画（後期計画）」策定

##### 【今年度の事業内容】

令和2年度は、事業の進行管理と併せて、令和元年度に実施した市民意識調査のデータに基づき後期計画の総括を行い、新たな課題や視点を反映した次期計画を策定します。

(単位：千円)

区分	概要	事業費
報酬等	男女共同参画推進委員会委員報酬等	480
委託料	男女共同参画推進計画策定委託料	3,000
計		3,480

##### 【今後の予定】

次期計画の着実な推進を図ることにより、男女共同参画社会の構築を目指します。

#### 期待される効果・成果目標等

男女が自らの意思によって多様な生き方を選択し、社会のあらゆる分野で個性や能力が発揮できる社会づくりに寄与します。  
また、男女が社会のあらゆる活動に参画するため、仕事と育児や介護等の両立を推進する「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）」の実現を目指すとともに、女性活躍の場づくりに寄与します。

款	総務費	項	総務管理費
---	-----	---	-------

**防犯対策事業**

(継続)

担当	市民生活部 生活安全課
----	----------------

<b>予算額</b>		21,933				(単位：千円)	
財源内訳	特定財源	国県支出金		事業期間	令和2年度	全体事業費	21,933
		地方債		施策の大綱	2-1 市民が主役の安心・安全なまちづくり		
		その他		施策名	2 地域ぐるみで取り組む防犯のまちづくり		
	一般財源	21,933	施策の内容	3 防犯環境の向上（犯罪の起きにくい環境づくり）			

**事業の目的**

安心で安全な住みよい「まちづくり」の実現を図るため、安全な生活環境整備に取り組むことにより、地域における犯罪を未然に防止します。

**事業の概要**

**【これまでの経緯】**

町内会等に対し、防犯灯の設置及び維持管理に要する経費について、補助金を交付してきました。また、防犯カメラを設置し、犯罪等の発生を抑止してきました。

**【今年度事業内容】**

- ・防犯灯LED化 新規設置：30千円×88基分 交換：20千円×904基分 合計：20,720千円
- ・防犯カメラ修繕 防犯カメラ購入：110千円×1台分 記録媒体購入：143千円×1台分 合計：253千円
- ・自主防犯組織活動用具購入 蛍光・反射メッシュキャップ購入：171町内会分 合計：960千円

**【今後の予定】**

- ・令和2年度末までにLED防犯灯への交換が完了します。
- ・現在設置されている防犯カメラは、耐用年数を過ぎたものから計画的に修繕します。
- ・地域の自主的な防犯活動の推進において、自主防犯組織の活動の活性化を図ることは、重要かつ不可欠な要素であるため、今後も必要な支援を検討します。

**期待される効果・成果目標等**

地域の実情に合わせた防犯対策の実施は、地域住民の不安解消の一助となるとともに、防犯意識の高揚や犯罪が発生しにくい環境の形成に寄与します。

款	総務費	項	総務管理費
---	-----	---	-------

**地域防災対策整備事業 (継続)**

担当	総務部 総務課
----	------------

<b>予算額</b>		12,875					(単位：千円)
財源内訳	特定財源	国県支出金		事業期間	令和2年度	全体事業費	12,875
		地方債		施策の大綱	2-1 市民が主役の安心・安全なまちづくり		
		その他		施策名	1 災害に強い安心して暮らせるまちづくり		
		一般財源	12,875	施策の内容	3 防災施設・設備の充実強化		

**事業の目的**

本市の防災の指針となる「土浦市地域防災計画」に基づき、市民の生命・身体及び財産を災害から保護するとともに、予想される大規模地震等の災害に備えるため、防災・減災対策の充実を図ります。

**事業の概要**

**【これまでの経緯】**

東日本大震災やこれまでの災害を教訓とし、地域防災計画の見直しをはじめ、避難所における非常食や防災資機材の備蓄、防災行政無線等の情報伝達手段の整備、更には、災害時における給水拠点の整備により、減災に資する施策を進めています。

**【今年度事業内容】**

(単位：千円)

概 要	事業費
地域防災倉庫の整備 (備蓄品の配備)	2,005
防災行政無線の整備 (屋外子局バッテリー, 無停電電源装置修繕)	2,438
防災用移動無線の整備 (IP無線の整備)	3,432
町内会防災井戸の整備 (補助金)	5,000
合計	12,875

**【今後の予定】**

備蓄品の配備など避難所の環境整備や自主防災組織の育成を図るとともに、災害時における迅速で的確な情報発信手段の確保に努め、更なる地域防災力の強化を目指します。



防災行政無線



防災用移動無線

**期待される効果・成果目標等**

市民一人ひとりが災害リスクを認識することはもとより、積極的な防災・減災対策により、地域コミュニティの更なる醸成や、安心・安全なまちづくりの推進が期待されます。多様な主体のそれぞれが、防災を「自分ごと」として捉え、自律的に災害に備えるまちづくりを目指します。

市制施行80周年記念事業

(新規)

担当 総務部  
総務課

予算額		15,570		(単位：千円)	
財源内訳	特定財源	国県支出金	977	事業期間	令和2年度
		地方債		施策の大綱	
		その他		施策名	
	一般財源	14,593	施策の内容		全体事業費 15,570

事業の目的

本市は、昭和15年11月3日、土浦町と真鍋町との合併により、県内3番目の市として誕生し、令和2年度に市制施行80年の節目を迎えます。先人たちの苦労や業績に敬意を表するとともに、市民との協働、創意工夫により、本市の歴史や自然など地域資源を活かした事業を展開し、本市の魅力を内外に発信します。

事業の概要

【今年度事業内容】

記念式典は、11月3日（火）に市民会館で実施し、表彰者を含む招待者は約1,000名を予定しています。  
 記念イベントは、NHK公開番組と自転車乃祭典などを開催します。  
 広報啓発事業として、横断幕や懸垂幕の設置、新聞への広告掲載等を行います。

(単位：千円)

事業名	概要	事業費
記念式典事業	表彰者や招待者への記念品や案内状、会場使用料など	4,983
NHK公開番組事業	「民謡魂 ふるさとの唄」の看板やポスター作製代、会場使用料など	1,398
広報啓発事業	横断幕や懸垂幕、ポスターやのぼり旗の作製代、新聞広告掲載料など	1,976
水郷筑波サイクリング環境整備事業	自転車乃祭典、スポーツバイク試乗会	1,955
第89回土浦全国花火競技大会開催事業	市制施行80周年記念オープニングスターメイン	4,400
土浦市体育協会事業補助金	西武ドームでの市民野球大会決勝戦及び3位決定戦	858
合計		15,570

◎その他にも、冠事業として「かすみがうらマラソン」などの既存事業を各課で実施します。

期待される効果・成果目標等

各種事業を行うことにより、市民の本市に対する郷土愛やシビックプライドの醸成を図ります。

款	民生費	項	社会福祉費
---	-----	---	-------

**医療福祉費助成事業（市単独助成拡大）** **（拡大）**

担当	保健福祉部 国保年金課
----	----------------

<b>予算額</b>		20,985		(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金		事業期間	令和2年度	全体事業費	20,985
		地方債		施策の大綱	2-4 ふれあいとあたたかいまちづくり		
		その他		施策名	5 セーフティネットとしての社会保障制度の適正な運営		
		一般財源	20,985	施策の内容	4 医療福祉制度		

**事業の目的**

県制度助成対象外の医療費について市単独助成を行うことにより、子育て世帯の医療費負担を軽減し、生活の安定と福祉の向上を図ります。

**事業の概要**

**【これまでの経緯】**  
 県医療福祉費支給制度(マル福)は、小児分については、所得制限範囲内において小学6年生までの外来及び高校3年生までの入院（平成30年10月から拡大）が助成対象となっています。（県制度分は県と市が1/2ずつ負担）  
 これに加えて、市単独助成として所得制限を撤廃し、中学3年生までの外来及び入院の医療費助成を行ってきました。

**【今年度事業内容】**  
 県制度の対象外である高校生の入院（所得制限超）及び外来の医療費について、市単独助成を行います。

**【今後の予定】**  
 高校生の医療費についての市単独助成を令和2年10月診療分から行う予定です。

		未就学児～小6	中学生相当	高校生相当
県所得制限	超	市単独		市単独 (R2.10～拡大)
	内	県制度		H30.10～拡大

**期待される効果・成果目標等**

小児の医療費助成対象を拡大することにより、子育て世帯の経済的負担を軽減するとともに、子どもたちが必要とする医療を受けられる環境の充実を図ります。

**結婚支援事業／結婚新生活支援事業**

(継続)

担当	保健福祉部 こども相談課
----	-----------------

<b>予算額</b>		1,350		(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金	600	事業期間	令和2年度	全体事業費	1,350
		地方債		施策の大綱	2-4 ふれあいとあたたかいまちづくり		
		その他		施策名	2 心豊かな生活を支える地域コミュニティの活性化		
		一般財源	750	施策の内容	1 結婚支援の充実		

**事業の目的**

出会いの場が少なく結婚の希望がかなえられない独身者に対して異性と出会うきっかけを提供するなど、結婚願望の実現を支援するとともに、新婚世帯を対象に、新生活のスタートに係る費用を助成することで、婚姻数の増加を図ります。

**事業の概要**

**【これまでの経緯】**

平成30年度～：婚活バスツアー及び婚活パーティー事前セミナー等の開催

令和元年度～：かすみがうら市・行方市と共催で婚活パーティーの開催

**【今年度事業内容】**

◎結婚支援事業

・婚活パーティー等開催 予算額 婚活パーティー開催費 120千円

・成婚奨励金 予算額 報償費 30千円×1組=30千円

市主催の婚活パーティーをきっかけに成婚し、市内に住むカップルに対し、結婚祝金を支給

◎結婚新生活支援事業

結婚を機に市内に転入又は市内で転居する低所得者世帯に対し、1世帯30万円を上限に引越費用及び住宅賃貸初期費用を助成

・対象世帯 夫婦いずれも満34歳以下で、所得額の合計が340万円未満の世帯

・予算額 補助金 300千円×4件=1,200千円



令和元年度婚活パーティーの様子

**期待される効果・成果目標等**

異性との出会いの場の提供による結婚願望の実現や、新婚世帯に対する引越費用等の助成による経済的負担の軽減を図ることにより、婚姻数及び若者の市内居住世帯の増加につながることを期待されます。

款	民生費	項	児童福祉費
---	-----	---	-------

**公立保育所民間活力導入事業 (継続)**

担当	保健福祉部 こども福祉課
----	-----------------

<b>予算額</b>		4,917					(単位：千円)
財源内訳	特定財源	国県支出金		事業期間	令和2年度	全体事業費	4,917
		地方債		施策の大綱	2-4 ふれあいとあたたかいまちづくり		
		その他		施策名	2 結婚から出産・子育てまでの支援の充実		
		一般財源	4,917	施策の内容	2 地域における子育て支援の充実		

**事業の目的**

平成27年度に策定した公立保育所民間活力導入実施計画に基づき、公立保育所へ民間活力を導入し、子育て支援の一層の充実を目指します。

**事業の概要**

**【これまでの経緯】**

- 平成26年度：土浦市公立保育所の運営のあり方検討委員会による調査・研究
- 平成27年度：土浦市公立保育所民間活力導入実施計画の策定
- 平成28年度：新川・竹ノ入保育所の民間活力導入事業を開始(平成29年4月新川保育所移管)
- 平成29年度：都和保育所の民間活力導入事業を開始(平成30年4月竹ノ入保育所移管)
- 平成30年度：桜川保育所の民間活力導入事業を開始(平成31年4月都和保育所移管)
- 令和元年度：新生保育所の民間活力導入事業を開始(令和2年4月桜川保育所移管)



令和元年度三者懇談会の様子(新生)

**【今年度事業内容】**

(単位：千円)

対 象	概 要	備 考
桜川・新生・東崎保育所の民間活力導入	整備補助金返還(桜川) 1,266 民間活力導入円滑化事業費補助金(新生) 307 不動産鑑定・選考委員会費用等(東崎) 492	不動産売払収入(新生) 25,393
後期計画策定	委託料2,600 策定委員会252	

**【今後の予定】**

公立保育所民間活力導入実施計画を着実に推進し、効果的・効率的な保育所運営に努めていきます。

**期待される効果・成果目標等**

公立保育所の民間活力導入を進めることで、限られた財源・人材等の有効活用が図られ、子ども・子育て支援施策等の更なる充実が期待できます。

<b>障害児保育推進事業</b>	<b>(継続)</b>
------------------	-------------

担当	保健福祉部 こども福祉課
----	-----------------

<b>予算額</b>		17,880				(単位：千円)
財源内訳	特定財源	国県支出金	事業期間	令和2年度	全体事業費	17,880
		地方債	施策の大綱	2-4 ふれあいとあたたかいまちづくり		
		その他	施策名	2 結婚から出産・子育てまでの支援の充実		
		一般財源	17,880	施策の内容	2 地域における子育て支援の充実	

**事業の目的**

障害児保育にかかる加配職員を配置している民間保育施設に交付する土浦市障害児保育事業費補助金について、対象児童、職員の資格・配置要件を緩和することで、特別な支援を必要とする乳幼児の入所を促進します。

**事業の概要**

**【今年度事業内容】**

右表の要件のとおり、障害児保育事業を実施する施設に対して補助金を交付します。

◎予算の内容

負担金補助及び交付金 17,880千円

対象施設	保育所，認定こども園，地域型保育事業
対象児童	保育所，認定こども園，地域型保育事業に通う2，3号認定児
職員資格要件	資格の有無を問わない（施設で判断）
対象となる障害の程度	① 特別児童扶養手当支給児
	② 身体障害者手帳，療育手帳，精神障害者手帳，医師の診断書，障害児通所受給者証
	③ 上記以外の者で，集団生活に特別な支援を要するものと市長が認める児童（巡回支援専門員による意見書等）
配置要件	4人までの対象児童に対し職員1人を加配
補助額	① 特別児童扶養手当対象児 月額80,000円
	② 各種手帳，医師の診断書等 月額50,000円
	③ 特別な支援を要するもの 月額30,000円

**期待される効果・成果目標等**

特別な支援を必要とする児童の入所を促進することで、健常児との混合集団保育を通じて発達を促すとともに、特別な支援を必要とする児童に対する「いたわりの気持ち」が養われることが期待できます。

款	民生費	項	児童福祉費
---	-----	---	-------

**保育費用保護者負担金軽減事業**

**(新規)**

担当	保健福祉部 こども福祉課
----	-----------------

<b>予算額</b>		62,130				(単位：千円)	
財源内訳	特定財源	国県支出金		事業期間	令和2年度	全体事業費	62,130
		地方債		施策の大綱	2-4 ふれあいとあたたかいまちづくり		
		その他		施策名	2 結婚から出産・子育てまでの支援の充実		
		一般財源	62,130	施策の内容	2 地域における子育て支援の充実		

**事業の目的**

教育・保育無償化の対象外となっている、保育施設を利用する0～2歳児クラスの児童について、保育施設の利用者負担額を減額することで、子育て世帯の支援を図ります。

**事業の概要**

**【今年度事業内容】**

右表の通り、利用者負担額の減額を実施いたします。

◎予算の内容 (単位：千円)

保育所に係る歳入減	43,704
認定こども園，地域型保育事業に係る歳出増(扶助費)	18,426
計	62,130

(単位：円)

利用者負担額の階層・区分		利用者負担額(月額)		軽減額
階層	区分	変更前	変更後	
第1	生活保護を受けている世帯	0	0	0
第2	市町村民税非課税世帯	0	0	0
第3 A	所得割課税額48,600円未満	5,800	5,800	0
第3		12,600	12,600	0
第4 A	所得割課税額77,101円未満	9,000	9,000	0
第4		24,500	20,700	3,800
第5	所得割課税額169,000円未満	41,200	31,400	9,800
第6	所得割課税額301,000円未満	51,000	41,100	9,900
第7	所得割課税額397,000円未満	58,400	50,800	7,600
第8	所得割課税額397,000円以上	64,400	57,300	7,100

**期待される効果・成果目標等**

保育施設を利用する0～2歳児の利用者負担額を減額することにより、子育て世帯の経済的負担軽減を図ります。

款	衛生費	項	保健衛生費
---	-----	---	-------

**成人用肺炎球菌予防接種（特例対象者分）**

**（継続）**

担当

保健福祉部  
健康増進課

<b>予算額</b>		1,465		（単位：千円）			
財源内訳	特定財源	国県支出金		事業期間	令和元年度～令和5年度	全体事業費	6,179
		地方債		施策の大綱	2-4 ふれあいとあたたかいまちづくり		
		その他		施策名	6 健康といのちを守る保健活動・医療体制の充実		
		一般財源	1,465	施策の内容	3 感染症予防対策の推進		

**事業の目的**

高齢者の肺炎球菌定期予防接種費用の一部を助成し、接種を受けやすくすることにより、高齢者の感染症を予防します。

**事業の概要**

**【これまでの経緯】**

- ・平成26年度 定期予防接種開始（65歳の方）  
対象者の特例措置（70・75・80・85・90・95・100歳の方，101歳以上の方初年度のみ）が開始
- ・令和元年度 対象者の特例措置5年間延長

**【今年度事業内容】**

対象者：年度内に70～100歳までの5歳刻みの年齢となる方で，今までに接種を受けたことがない方（約3,000人）  
助成額：上限4,000円（生活保護受給者は全額公費負担）  
予算額：接種費用 1,208千円（約300人見込み），予診票郵送料 257千円

**【今後の予定】**

5年間で65歳以上のすべての方を対象とすることで，高齢者の感染症の予防を推進します。

**期待される効果・成果目標等**

肺炎球菌が原因の肺炎は，成人の肺炎の25～40%を占めます。肺炎球菌は肺炎のほか，髄膜炎・敗血症などを起こすことがあります，予防接種により重症化を防ぐことができます。

款	衛生費	項	保健衛生費
---	-----	---	-------

**風しん抗体検査・第5期予防接種**

(継続)

担当	保健福祉部 健康増進課
----	----------------

<b>予算額</b>		28,109				(単位：千円)	
財源内訳	特定財源	国県支出金	10,652	事業期間	令和元年度～令和3年度	全体事業費	68,960
		地方債		施策の大綱	2-4 ふれあいとあたたかいまちづくり		
		その他		施策名	6 健康といのちを守る保健活動・医療体制の充実		
		一般財源	17,457	施策の内容	3 感染症予防対策の推進		

**事業の目的**

国の風しん追加的対策により、風しん抗体保有率の低い世代（昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれ）の男性に対し、令和4年3月末までの時限措置として抗体検査及び定期予防接種を実施し、風しんの発生及びまん延を予防します。

**事業の概要**

**【これまでの経緯】**

平成31年2月予防接種法施行令改正により、平成31年4月から事業開始となりました。3年間で段階的に行うこととされ、令和元年度は昭和47年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性（約8,000人）を対象に実施しました。

**【今年度事業内容】**

令和2年度は、昭和37年4月2日～昭和47年4月1日生まれの男性（約10,000人）と、昨年度対象で未実施の方を対象に実施します。

- ◎予算内容
- ・案内通知作成 25千円
  - ・案内通知郵送料、支払事務手数料 1,545千円
  - ・抗体検査、予防接種費用 26,539千円

**【今後の予定】**

国の示す対策方針に基づき事業を進めます。実施率向上のため、周知、勧奨に努めます。

**期待される効果・成果目標等**

事業の実施により、妊婦（特に妊娠早期）への感染を予防することで、重症化を防ぎ、出生児を先天性風しん症候群から守ることができます。

(※先天性風しん症候群：妊婦が妊娠早期に感染した場合、出生児が目・耳・心臓に障害を持つことがある。)

款	衛生費	項	保健衛生費
---	-----	---	-------

**フッ化物洗口普及事業 (継続)**

担当	保健福祉部 健康増進課
----	----------------

<b>予算額</b>		203				(単位：千円)	
財源内訳	特定財源	国県支出金		事業期間	令和2年度	全体事業費	203
		地方債		施策の大綱	2-4 ふれあいとあたたかいまちづくり		
		その他		施策名	6 健康といのちを守る保健活動・医療体制の充実		
	一般財源	203	施策の内容	2 母子保健の充実			

**事業の目的**

市内の保育所・認定こども園等の施設において、永久歯が生え始める時期の年中・年長児に対し、むし歯予防に科学的根拠が示されているフッ化物洗口を実施し、幼児期からの歯科保健の向上を図ります。

**事業の概要**

**【これまでの経緯】**

令和元年度に、茨城県が実施する「モデル地区におけるフッ化物応用推進事業」に参加し、実施を希望した市内保育所、保育園、認定こども園（合計15施設、園児約690名）において説明会を実施し、順次フッ化物洗口が開始されています。

**【今年度事業内容】**

県モデル事業に準じた内容により、新たにフッ化物洗口の実施を希望する施設を対象に実施します。（10施設程度）

- ◎予算内容
- 薬剤・専用容器（導入時配布用） 102千円
- 説明会時歯科衛生士報償費 101千円

※導入時の薬剤は市が用意し、その後は各施設で購入する。

**【今後の予定】**

より多くの施設で実施できるよう、県や歯科医師会の協力を得ながら、事業の普及啓発に努めます。

**期待される効果・成果目標等**

むし歯予防効果の高いフッ化物洗口を施設で集団的に行うことにより、家庭で行う場合に比べて確実に継続でき、また、幼児自身が自分の歯を守る意識を持つことにもつながり、歯・口の健全な発育、更には全身の健康増進が期待できます。

款	衛生費	項	清掃費
---	-----	---	-----

**汚泥再生処理センター整備事業**

(継続)

担当	市民生活部 環境衛生課
----	----------------

<b>予算額</b>		1,711,033		(単位：千円)	
財源内訳	特定財源	国県支出金	432,721	事業期間	平成25年度～令和4年度
		地方債	350,200	施策の大綱	2-5 環境を重視するまちづくり
		その他		施策名	4 環境美化と環境衛生の推進
	一般財源	928,112	施策の内容	1 汚泥再生処理センターの整備	
		全体事業費			2,580,860

**事業の目的**

老朽化した衛生センターを、現在のし尿及び浄化槽汚泥に加え、有機性廃棄物（農業集落排水施設汚泥）を併せて処理し、助燃剤化する再資源化設備を設けた汚泥再生処理センターとして建て替えます。（令和2年度末完成予定）

**事業の概要**

**【これまでの経緯】**

平成25年度 施設精密機能検査等業務                      平成27年度 循環型社会形成推進地域計画，生活排水処理基本計画策定  
 平成28年度 測量，地質調査，環境影響調査            平成29年度 施設整備基本計画策定  
 平成30年度 発注仕様書等作成，既設施設（一部）解体工事，管理棟リース  
 令和元年度 設計及び施工監理業務，管理棟リース，実施設計及び建設工事

**【今年度事業内容】**

(単位：千円)

区分	概要	事業費
委託料	設計及び施工監理業務委託等（継続費事業）	31,376
使用料及び賃借料	管理棟リース（継続費事業）	1,845
工事請負費	実施設計及び建設工事（継続費事業）	1,676,612
需用費等	旅費，消耗品，通信運搬，手数料，備品	1,200
計		1,711,033



汚泥再生処理センター(完成イメージ図)

**【今後の予定】**

令和3年度 汚泥再生処理センター稼働開始，既存施設解体工事                      令和4年度 搬入路舗装工事

**期待される効果・成果目標等**

し尿や浄化槽汚泥のみならず，その他の有機性廃棄物を含めて再生利用することで，循環型社会形成の推進に寄与します。

**土浦ブランドアッププロジェクト推進事業 (継続)**

担当 都市産業部  
農林水産課

<b>予算額</b>		1,549		(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金		事業期間	令和2年度	全体事業費	1,549
		地方債		施策の大綱	2-3 活力とにぎわいのあるまちづくり		
		その他		施策名	3 付加価値の高い持続可能な農業の振興		
	一般財源	1,549	施策の内容	5 農産物の生産振興と価値の創出による需要の拡大			

**事業の目的**

本市は、首都東京から約60km圏内に位置し、日本一の生産量を誇るれんこんを始め、米、葉菜、根菜、果実、花き、畜産と多種多様な農業地域となっています。また、霞ヶ浦の水産資源にも恵まれています。

この豊富な農林畜水産物やその加工品をPRすることで、本市のブランド力を底上げし、交流人口の増加及びまちのにぎわい創出に繋がります。

**事業の概要**

**【これまでの経緯】**

平成28～30年度：土浦ブランドアッププロジェクト基本構想策定，第1期～3期の土浦ブランド認定実施

令和元年度：マルシェの実施，ブランドイメージメニュー(加工品)の普及推進，各種メディアを活用したPR事業

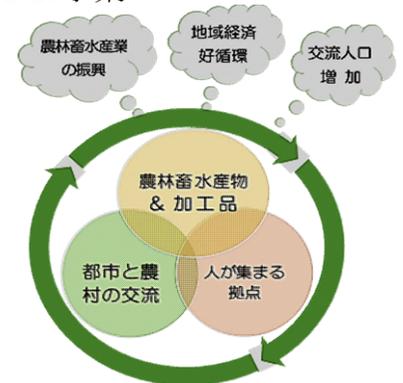
**【今年度事業内容】**

(単位：千円)

概要	事業費
土浦ブランドアッププロジェクト推進協議会の継続実施	597
土浦ブランドイメージメニューの普及推進事業	257
土浦の恵み(マルシェ)での販売会の実施	315
販売拠点整備事業	300
事務経費等	80
合計	1,549

**【今後の予定】**

土浦ブランドに認定した農林水産物やその加工品をPRすることで、本市のブランド力を底上げします。



**期待される効果・成果目標等**

土浦産の農林水産物やその加工品をPRすることで、本市の魅力が伝わり、来訪者の増加へと繋がります。また、れんこんを始めとする農林畜水産物の利活用が広がることで、本市の農林水産業や地域経済の活性化に寄与します。

款	農林水産業費	項	農業費
---	--------	---	-----

一般地帯土地改良事業

(継続)

担当	都市産業部 農林水産課
----	----------------

予算額		51,643				(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金	10,521	事業期間	令和2年度		全体事業費	51,643	
		地方債	28,500		施策の大綱	2-3 活力とにぎわいのあるまちづくり			
		その他	2,104			施策名			3 付加価値の高い持続可能な農業の振興
	一般財源	10,518	施策の内容	1 農業生産基盤の整備と保全					

事業の目的

農用地区域の農道及び水路の環境整備により、機械化農業に貢献し、排水路としての機能回復や用水源としての活用により営農効率を高め、農業経営の安定を図ります。

事業の概要

【これまでの経緯】

農用地区域内の道路約357kmのうち、198.0kmについて整備済（平成30年度末現在 約55%）  
 農用地区域内の水路約93kmのうち、20.0kmについて整備済（平成30年度末現在 約22%）

【今年度事業内容】

- ◎農道整備
  - 農道改良工 1地区（手野谷原地区）L＝110m
  - 農道舗装工 1地区（木田余地区）L＝385m
- ◎かんがい排水整備 排水路整備工 1地区（下坂田地区）L＝110m
- ◎法定外水路管理 修繕、草刈清掃委託

(単位：千円)

区分	概要	事業費
需用費	修繕料	350
委託料	実施設計、草刈清掃委託	2,500
工事請負費	かんがい排水及び農道整備工事	48,793
合計		51,643



農道改良工(完成)



排水路整備工(完成)



農道舗装工(完成)

【今後の予定】

未整備の道路・水路について、優先順位を決めて計画的に整備を実施します。

期待される効果・成果目標等

農道整備により大型機械の進入が可能になり、水路の排水路としての機能を回復することで、営農効率を高め、農業経営の安定に寄与します。

款	商工費	項	商工費
---	-----	---	-----

**わくわく茨城生活実現事業（移住・新規就業者支援事業）（継続）**

担当	都市産業部 商工観光課
----	----------------

<b>予算額</b>		3,232		（単位：千円）			
財源内訳	特定財源	国県支出金	2,424	事業期間	令和2年度	全体事業費	3,232
		地方債		施策の大綱	2-3 活力とにぎわいのあるまちづくり		
		その他		施策名	6 安心して働くことのできる勤労者福祉の推進		
		一般財源	808	施策の内容	2 雇用の安定確保		

**事業の目的**

東京圏への一極集中の是正及び地域の担い手不足対策のため、地方創生推進交付金を活用し、U I J ターンによる移住及び新規就業者の創出を図ります。

**事業の概要**

**【これまでの経緯】**

令和元年9月に「土浦市わくわく茨城生活実現事業における移住支援金交付要項」を制定し、支援金交付体制を構築しました。

**【今年度事業内容】**

- ◎交付支援金額
  - ・単身移住者・・・ 600千円（国費300千円，県費150千円，市費150千円）
  - ・世帯移住者・・・1,000千円（国費500千円，県費250千円，市費250千円）
- ◎交付要件
  - ・1の要件を満たす者のうち，2又は3の要件を満たす本市への転入者
    - 1 東京23区の在住者又は東京圏（東京都，埼玉県，千葉県及び神奈川県）在住で東京23区への通勤者
    - 2 茨城県がマッチング支援の対象とした中小企業等への新規就業者
    - 3 茨城県の起業支援金の交付を受けた者
- ◎予算額
  - ・単身移住者・・・ 600千円×2名 =1,200千円
  - ・世帯移住者・・・1,000千円×2世帯=2,000千円
  - ・印刷製本費（パンフレット代）32千円

**【今後の予定】**

全県的な広域事業となるため，茨城県をはじめ関係機関・団体と連携しながら，積極的な事業PRを進めます。

**期待される効果・成果目標等**

移住及び新規就業を促進させ，地域の中小企業の人材不足を解消させることにより，定住人口の増加と地域経済の活性化が期待されます。

款	商工費	項	商工費
---	-----	---	-----

## 中心市街地開業支援事業

(継続)

担当	都市産業部 商工観光課
----	----------------

予算額		5,100				(単位：千円)	
財源内訳	特定財源	国県支出金	2,550	事業期間	令和2年度	全体事業費	5,100
		地方債		施策の大綱	2-3 活力とにぎわいのあるまちづくり		
		その他		施策名	2 生活を豊かにする商業・サービス産業の振興		
	一般財源	2,550	施策の内容	3 空き店舗対策・起業促進			

### 事業の目的

本市の中心市街地に開業しようとする新規事業者に対して、家賃又は改装費の一部を補助することにより、市民や事業者等の起業機会を創出し、まちで働く人・活動する人を増やすことにより、中心市街地の活性化を図ります。

### 事業の概要

#### 【これまでの経緯】

土浦市中心市街地活性化基本計画に基づき、活力とにぎわいのある商店街区の形成のため、平成26年度から新規開業者に対して家賃の一部を補助することにより、中心市街地の商業・業務機能の活性化を促進し、まちなかの魅力とにぎわいの向上に努めてきました。

また、令和元年度からは、多様化する新規開業者のニーズに対応するため、改装費の一部を補助対象に追加しました。

#### 【今年度事業内容】

中心市街地の空き店舗に新たに開業する者に対し、家賃又は改装費の一部を補助します。

◎家賃補助 家賃1か月分の1/2 (上限10万円) ×12か月

◎改装費補助 改装費の1/2 (上限50万円) ※開業時のみ

#### 【今後の予定】

土浦商工会議所等と連携しながら、中心市街地商業・業務機能の活性化の一層の促進を図ります。

#### 対象区域



◎土浦市中心市街地活性化基本計画区域 (約118.8ha)  
中央一・二丁目、大和町、有明町の一部、大手町の一部、川口一・二丁目の一部、桜町一・三・四丁目の各一部、城北町の一部、東崎町の一部、港町一丁目の一部、立田町の一部

### 期待される効果・成果目標等

本市の中心市街地に開業しようとする新規事業者の増加や活力とにぎわいのある商店街区の形成、まちで働く人・活動する人が増えることによるまちなかの魅力向上・にぎわいの創出が期待されます。

款	商工費	項	商工費
---	-----	---	-----

**第89回土浦全国花火競技大会開催事業 (継続)**

担当	都市産業部 商工観光課
----	----------------

<b>予算額</b>		81,000				(単位：千円)	
財源内訳	特定財源	国県支出金		事業期間	令和2年度	全体事業費	81,000
		地方債		施策の大綱	2-3 活力とにぎわいのあるまちづくり		
		その他	21,000	施策名	5 地域の魅力を生かした観光の振興		
		一般財源	60,000	施策の内容	4 観光行事の充実		

**事業の目的**

本市が誇る土浦全国花火競技大会の更なる充実を図り、煙火技術の向上へ貢献するとともに、「花火のまち土浦」を全国にアピールし、本市のイメージアップと観光による交流人口の拡大を図ります。

**事業の概要**

**【これまでの経緯】**

大正14年に神龍寺の住職であった故秋元梅峯師が、海軍航空隊の殉職者の慰霊と関東大震災後の不況で疲弊した経済の活性化を図ることを目的に始められ、今年度で第89回を迎える歴史のある大会です。

**【今年度事業内容】**

◎第89回土浦全国花火競技大会：開催日は実行委員会で決定

主催：土浦全国花火競技大会実行委員会

競技内容：スターマインの部 22台、10号玉の部 45発、創造花火の部 22組

余興花火：市制施行80周年記念オープニングスターマイン、レクチャー花火、ワイドスターマイン「土浦花火づくし」、エンディング花火

安全対策：出品規定等の見直しを行うなど、安全対策の徹底を図り、安心・安全な大会の運営に努めます。



第88回土浦全国花火競技大会ポスター

**期待される効果・成果目標等**

当事業は、茨城県内でも最大規模のイベントであり、本市の全国的なアピールとなり、イメージアップが図られます。また、例年70万人を超える観客があることから経済的な効果も高く、本市の活性化に寄与します。